



## 報恩講 日中法要

## 光といのち

第151号  
2025年1月1日発行

発行所  
真宗大谷派勝善寺  
〒299-2214  
千葉県南房総市二部1344  
電話 0470-57-2657  
FAX 0470-57-2290  
メール info@syozenji.or.jp  
URL http://syozenji.or.jp/  
住職 釋孝昌(井上孝昌)

私は、  
いったい何のために  
生まれてきたのだ  
ろうか。

## 謹賀新年

寺族一同

百々海真先生の題字下の言葉が「仏法を聴聞せよ」と聞こえました。これは、ご催促です。先生は、講題を「オギャア」の翻訳とし、「宗教とか信仰とか言っても別のことがあるわけではなく、各自が自分の誕生の「オギャア」を生涯かけて翻訳することだ」と曉烏敏師の仰せを紹介されました。

「私は、いったい何のために生まれてきたのだらうか。」と問い訊ねることが、宗教であり信仰。私の思いを固め頑なにやることではなかったのだ！

文頭のご催促に「ご催促のために、裏面下段の「ご予定ください」を、みな様の仏法聴聞の場として設けます。そして、住職は率先して聴聞します。さらに首を長くして、みな様を待ちます。もう一つ、題字下の言葉から発見がありました。

真宗大谷派宗務総長を務められた能邨英士師の言葉に「どう生きるかが問題ではない。何のために生きるかが問題である。」



伊藤照代氏感話

### 1)縁

私は、中佐久間の伊藤と申しませう。人前でお話してきけるような者ではありませんが、自分の思ったことを話せばよいとのことでしたので、少しお話しさせていただきます。

私が南無阿彌陀仏という念仏にご縁ができたのは、大切な人との突然の別れがあり自分自身どうしたら良いのかわからず、身体がここにあっても気持ちはこちらにあらすという状態の時でした。家の中に居ても自分自身落ち着いていられる場所も無く何も手につきませんでした。その頃に住職が初七日二十七日三七日と七日ごとにお参りに来てくださっていたので、そんな自分の様子をそのままお話しすると、

「南無阿彌陀仏」と掌を合わせ念仏を称えると言われたのでした。

その時の自分は、きつと藁にもすがりつきたい気持ちだったのだと思います。それから毎日何度も何度も掌を合わせ「南無阿彌陀仏 南無阿彌陀仏・・・」と称える日々が長く続きました。しかしいつの間にか気がついてみると、その回数は少しずつ減っていました。今思えば、すがりつくような気持ちも和らぎ平常を少しずつ取り戻していたのでしよう。今も朝晩お内仏(仏壇)の前で合掌しお念仏は称えています。そして仕事にも復帰できました。

この春に長年勤めていた仕事を退職すると、以前から親しくしていた方々に誘われ、勝善寺の「月曜朝のお勤め」に毎週参加させていただくようになりました。

月曜日の朝六時から十人ほどの人たちと本堂で「正信偈」などのお勤めをして蓮如上人の「御文」を拝聴し、住職の法話を聴きます。

「すべて成るようになっていく。」「良い事も悪い事もすべて

「縁。」「起こった事実には立ち生きていく。」「独りで生きているのではない。共に生きている」というような仏教の考え方を聞いていると、なるほどとうなずけます。

四十分ほどの短い時間ですが、毎回とても楽しいです。一週間の始めということもあり、自分自身気合いも入ります。皆さんもぜひ一緒にしませんか！

また、勝善寺などでの聞法会にも参加させていただくようになりまし。仏教のことはよく解りませんが、お仲間と一緒に勤めをして仏教を聴きお喋りできるのは楽しいです。

この感話をしなければならなくなり、私は独りで生きているのではないということに、改めて気づきました。確かに私はそうでした。人間は独りでは生きていけません。いろいろな人に私は助けていただきました。ほんとうに有り難いことでした。お陰様です。こんな自分も誰かの助けになっていたら嬉しいのですがね・・・。

うまく気持ちが言えず、お聞き苦しかったと思います。すみませんでした。

### 1)予定ください

修正会	1月2日(木)	10時~11時30分	
八日講十日講	1月8日(水)	9時~11時	
親鸞教室	1月23日(木)	13時半~16時	
仏教を聞き語り合ひ会	2月9日(日)	13時半~16時	
親鸞教室	2月26日(水)	13時半~16時	
春彼岸会	3月20日(木)	10時~11時30分	
仏教を聞き語り合ひ会	兼花まつり	4月6日(日)	13時半~16時
親鸞教室	4月30日(水)	13時半~16時	
仏教を聞き語り合ひ会	5月11日(日)	13時半~16時	
中佐久間講	5月20日(木)	13時半~16時	
親鸞教室	5月29日(木)	13時半~16時	
八日講十日講	6月1日(日)	9時~11時	
奉仕作業	6月8日(日)	8時30分~	
勝善寺聞法会	6月8日	13時半~16時	
仏教を聞き語り合ひ会	7月20日(日)	13時半~16時	

※八日講十日講・奉仕作業以外は、ズーム配信します。

とあります。実はずっと、私は解らない言葉でした。

「どう生きるか」は、一度限りの人生を後悔しないようにとか、最後まで迷惑をかけないようにとか、日常的な関心事です。

「何のために生きるか」は、健康や名誉や信念や金のためとか、「世のため人のため」ということで、これも自我を満足させる欲望で、仏教ではありません。だから師の言葉に、疑問を懐いていたのでした。

ところが「何のために生きるか」、「自分の誕生の「オギャア」を生涯かけて翻訳する」ためでした！

仏法聴聞すると、その都度に発見がある。こんな楽しく嬉しいことはありません。

無病息災・家内安全  
・商売繁盛など、私の  
願いを超えた功徳をい  
ただく法要修正会  
に、お参りください。

**一月二日(木)  
十時~十一時半**